

お父さん出番ですよ！（乳幼児期）



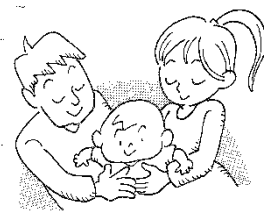
ワーク1

- 初めて「子どもを授かったとき」のことを思い出してみましよう。
 - ・「父親」であることを最初に実感したのはどんなときですか？
 - ・また、そのときどのような気持ちになりましたか？

.....

.....

.....



- お子さんとのかかわりの中で、「楽しかったこと」「うれしかったこと」はどんなことですか？



.....

.....

あなたは、家事・育児にどのようにかかわっていますか。

.....

.....

.....

ワーク2

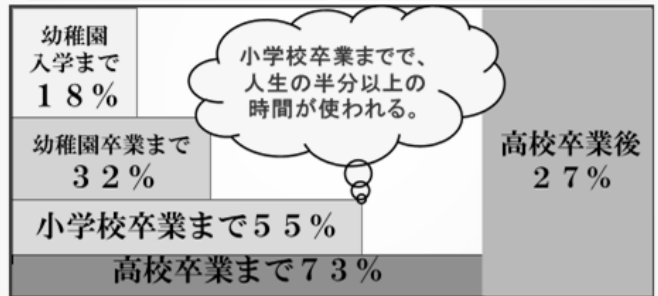
- 右の図を見てみましょう。
◇ わが子と生涯で一緒に過ごす時間



父親の人生の中で、わが子と一緒に過ごす時間は、母親の半分以下です。

◇ わが子と生涯で一緒に過ごす時間

母親 7年6ヶ月 父親 3年4ヶ月



参考：H23社会生活基本調査（総務省統計局）

- 父親としてもっとかかわりたい家事・育児は何ですか？
交流してみましょう。

今日気がついたこと、わが家でもやってみようと思ったことは何でしたか？



今日からぜひやってみてくださいね。お疲れ様でした。



父親であることを最初に実感したのは、「初めて子どもの顔を見たとき」「初めて子どもを抱いたとき」という声が多いんじゃないよ。その時の気持ちを忘れんといいな。

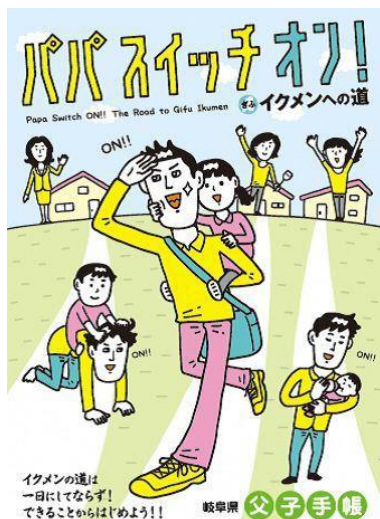
そして、夫婦、家族は話さなくても分かる、と思っている人もいるだろうが、子育てについて考えていること、お互いの思いをしっかりと伝えあって、家族みんなで、子育てを楽しめるとええと思うよ。

◇父子手帳を見てみましょう！

岐阜県 父子手帳

検索

岐阜県父子手帳「パパスイッチオン！ぎふイクメンへの道」



父子手帳の入手方法はHPにあります。

～もうすぐパパになるあなたへ～
「愛されるイクメンになるために」

妻が妊娠した、そのときから妻はママになり、夫はパパになります。

赤ちゃんはママのからだに宿りますが、ママの想いに寄り添って一緒に歩いていく気持ちがあるだけで、パパスイッチはオン！になります。

パパとママが協力し合い、子育てを楽しむことは、子どもの健やかな成長につながります。

仕事が忙しい中、子育てに関わることは大変かもしれませんが、決して時間と労力のムダではなく、パパの人間性を豊かにし、幸せを与えてくれるものです。

失敗しても大丈夫！できることからやってみることが、ママや子どもから愛されるパパの第一歩になるのです。

イクメンの道は一日にしてならず！できることから始めてみましょう

パパが育児に関わると・・・子どもに良いこと5つ

ママが楽になって、
ママと子どもの
関係が良くなり、
ママのパパへの
愛情も深くなる



パパが育児をすると
子どもの自己評価が
上がって、
生きる力が育つ



パパがほめると
子どもが
学校や社会に出る
勇気になる



パパと
からだを使って遊べば、
子どもの
からだが丈夫になる



パパにきちんと
しかってもらえると、
子どもはルールを守る

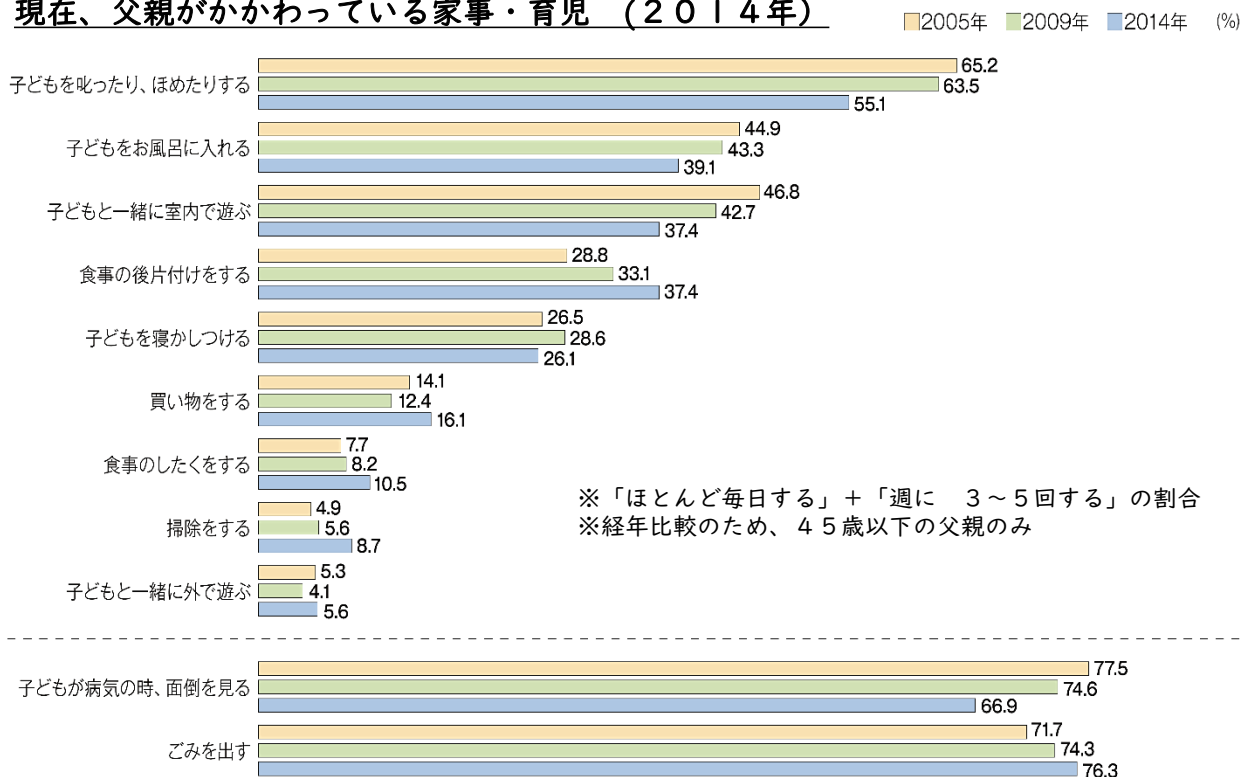


第3回乳幼児の父親についての調査（2014、ベネッセ）

①「家事・育児に今まで以上に関わりたい」と思う父親は9年間で増加した。

●2005年47.9%、2009年54.2%、2014年58.2%

現在、父親がかかっている家事・育児（2014年）



※「ほとんど毎日する」+「週に3～5回する」の割合
※経年比較のため、45歳以下の父親のみ

②しかし、家事・育児への関わりの実態は、大きく変わっていない。また、「子どもとの接し方に自信が持てない」割合も増加している。

●関わっている家事・育児で増加しているのは、「ごみを出す」「食事の後片付けをする」である。その他の家事・育児はほとんど増加はみられない

妻の声

それでは、夫の家事・育児のかかわりについてどう思っているでしょう。

ゴミ出しをしてくれるのはありがたいけど、ゴミを分類してゴミ袋に入れることまでやってほしい。

買い物や料理をすることが当たり前と思わないで、感謝の言葉がほしい。

一日中子どもの相手をしているのも疲れる。たまに休みのときにはひとときでいいので解放されたい。

時間があるときに、「手伝おうか？」の一言がほしい。

毎日の家事・育児がたいへん。ぐちを聞いてくれるだけでもうれしい。

家事はしてもらっても、結局もう一度しなくちゃならない。一人でちゃんとできるようにしてほしい。